

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	環境振動設計検討小委員会		主 査 名：原田 浩之 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (環境振動運営委員会)		委員長名：秋元 孝之 主 査 名：松本 泰尚
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2020 年に出版された「居住性能確保のための環境振動設計の手引き」(以下「設計の手引き」)の内容を広く会員に紹介するとともに、今後の研究・技術の進歩・発展に伴う新たな知見を盛り込んで、より良い書籍に成長させるための検討を行う。 初年度：「設計の手引き」のブラッシュアップに向けた検討課題の整理と課題解決に向けたロードマップの作成 2 年度：ロードマップに則った課題解決に向けた検討		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：原田浩之(三井住友建設) 幹事：崔井圭(ヤクモ) 委員：相原知子(大成建設)，朝日智生(日建設計)，小田嶋暢之(竹中工務店)，片岡達也(山下設計)，西川大介(日本設計)，濱本卓司(東京都市大学)，林将利(梓設計)，東田豊彦(積水ハウス)，山中祐一(JR 東日本建築設計)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2021 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc40-12.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活動計画に沿って年 5 回の小委員会を開催し、「設計の手引き」の次回改定に向けた検討事項について議論した。 2. 次回改定までの中間段階の成果として、一貫通貫の設計例を盛り込んだ「設計資料集」を作成することを決定した。 3. 揺れの感じ方や時間効果の影響を体感する場を設けた。
委員会活動の問題点・課題	1. 環境振動運営委員会傘下の他の小委員会や WG との連携が弱い。

2021 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> A B C D </div>
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年 5 回の小委員会を開催し、「設計の手引き」の次回改定に向けての検討事項について議論した。 2. 次回改定においては、「手引き」から「指針」へのグレードアップを目指すことを決定した。 3. 次回改定までの中間段階の成果として、2026 年度を目途に「設計資料集」を作成することを決定した。 4. 性能マトリクスの見直し、設計例の作成に向けて、準備を進めた。 5. 揺れの感じ方や時間効果の影響を体感し、今後の活動に活かすために、振動体験の場を設けた。(2/18 予定) <p style="margin-top: 20px;">以上より、2021 年度の活動目標はおおむね達成できたものと判断する。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。